

「博士論文のオープンアクセスを実現する」
オープンアクセス・サミット 2013 第2部 開催案内

平成 25 年 4 月の学位規則改正に伴い、各大学は博士論文のインターネットによる公表について、学内の体制を整えているところかと思われます。しかし、それに際して疑問や困難に直面している教職員・学生も多いのではないのでしょうか。そこで本ワークショップでは、関係者が抱いている疑問の解消や、困難への対処法についての情報の共有、博士論文オープンアクセス化の意義をご理解いただくことを目指します。

〔日 時〕 平成 25 年 6 月 7 日（金） 9:30～12:00

〔場 所〕 学術総合センター 一橋大学一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2）

〔主 催〕 国立情報学研究所

〔参加費〕 無料

〔プログラム〕

「博士論文のオープンアクセスを実現する」

司会： 富田健市 岡山大学附属図書館事務部長

9:30～09:35 開催趣旨説明

9:35～10:05 「オープンアクセス化の意義」（仮）

引原隆士 京都大学図書館機構長

10:05～10:20 「学位規則の改正について」

立松慎也 文部科学省高等教育局大学振興課大学院係長

10:20～10:35 「国立国会図書館の対応」（仮）

木目沢司 国立国会図書館関西館電子図書館課長（予定）

10:35～10:50 「国立情報学研究所の対応」

前田朗 国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課 IR 担当

10:50～11:20 大学図書館の取り組み

① 慶應義塾大学 ② 岡山大学 ③ 麻布大学

11:20～12:00 質疑応答

※「博士論文のオープンアクセスを実現する」は、6 月 6 日（木）・7 日（金）の 2 日にわたって開催する『オープンアクセス・サミット 2013～学術情報のオープン化に向けて～現在の到達点と未来の展望～』の第 2 部です。

〔詳細情報及び申込〕

http://www.nii.ac.jp/irp/event/2013/OA_summit/

〔お問い合わせ〕

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課オープンアクセス・サミット担当

E-mail: oa_summit@nii.ac.jp

Tel: 03-4212-2350